

大学生・高校生・地域住民らが 南ひだ健康道場の活用について語り合います！

岐阜大学では、県内自治体など地域と協力して進める「地（知）の拠点整備事業」の一つとして、未来についての対話の場となる「フューチャーセンター※」を開催しています。

今回は、本学学生、益田清風高校生、行政職員及び地域住民のみなさんらが一緒になり、食や健康に関する県の体験施設「南ひだ健康道場」の新たな活用方法についてアイデアを出し合います。

つきましては、取材方よろしくお願いたします。

記

1. 行事名 第7回 んふフューチャーセンター
2. 日 時 平成27年11月15日（日） 14:00～15:45
3. 場 所 南ひだ健康道場 健康学習センター
（下呂市萩原町 四美 1557-3 tel: 0576-55-0010）
4. テーマ 「南ひだ健康道場の活用」
サブテーマ （1）南ひだ健康道場のいいところ、魅力
（2）南ひだ健康道場でやってみたいこと、できること
（3）南ひだ健康道場を活用したモデル事業を考える
5. 参加者 30人 内訳：岐阜大学学生10人、同教職員5人、益田清風高校生5人、
（予定） 地域住民5人、県・下呂市職員5人
6. 方 法 グループによる話し合い
7. ファシリテーター 伊藤栄一 岐阜大学地域協学センター地域コーディネーター
8. 主 催 国立大学法人岐阜大学、岐阜県

※フューチャーセンター

複雑な課題について、多様な人々が集まり、未来志向で創造的に議論する「対話の場」をいいます。欧州の公的機関などで発展し、日本では企業や大学等で設置が広がりつつあります。

<参考>

岐阜大学の「地(知)の拠点整備事業(大学COC(センター オブ コミュニティ Center Of Community)事業)」

岐阜大学が県内自治体等と連携し、「地域にとけこむ大学」を目指して行う教育・研究事業。

- 事業名称 ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学
- 目 標 地域の諸問題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する
- 3つの柱 ①教 育：地域にとけこみ活躍する人材の育成
(次世代地域リーダー育成プログラムの展開)
- ②社会貢献：自治体や地域住民、大学などがともに地域課題について対話する場
(フューチャーセンター) の設置
- ③研 究：地域を志向する研究の推進



【平成27年度 ぎふフューチャーセンター開催実績】

	主催者	開催日 会場	参加 人数	テーマ
第1回	岐阜大学 高山市	5月22日 飛騨高山まちの博物館	64	人とのつながりから地域をつくる
第2回	岐阜大学 揖斐高校	6月5日 揖斐高校	58	いびの恵みの発信～効果的な発信方法を考える～
第3回	岐阜大学 郡上市	6月13日 郡上八幡旧庁舎記念館	42	郡上市八幡町市街地の空き家の利活用について
第4回	岐阜大学 高山市	8月28日 乗鞍岳畳平	36	自然保護と地域振興の共存
第5回	岐阜大学	9月29日 JAひだ本店	32	飛騨牛ブランドをどう考えるか
第6回	岐阜大学 岐阜市	11月10日 岐阜大学サテライトキャンパス	36 (予定)	若者よ、選挙に行こう！